



2025年10月3日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 あ み や き 亭
代表者名 代表取締役会長兼社長 佐藤 啓介
(コード：2753 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 常務取締役管理本部長 千々和 康
(TEL. 0568-32-8800)

第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年4月4日に公表いたしました2026年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と、本日公表の実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2026年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

(金額単位：百万円未満切捨)

1. 2026年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異(2025年4月1日～2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 19,100	百万円 1,420	百万円 1,460	百万円 930	円 銭 45.27
今回実績値（B）	18,136	986	1,035	540	26.32
増減額（B-A）	△963	△433	△424	△389	－
増減率（％）	△5.0％	△30.6％	△29.1％	△41.9％	－
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年3月期第2四半期)	17,584	1,348	1,383	819	39.90

差異の理由

第2四半期累計期間における連結業績につきましては、レストラン事業「感動の肉と米」の新規出店が順調に進み売上拡大に寄与いたしました。しかしながら、主力事業である焼肉事業においては、猛暑や天候要因、継続的な物価上昇による消費者の節約志向の強まり等により既存店売上が想定を下回りました。さらに、物価高騰による原材料価格等の高止まり、人材確保難を背景とした人件費や物流費の増加に加え、販促活動費用の増加が収益性を圧迫した結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも当初予想を下回る水準となりました。

2. 2026年3月期通期連結業績予想の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 38,800	百万円 2,910	百万円 3,000	百万円 1,910	円 銭 92.97
今回修正予想 (B)	38,600	2,200	2,300	1,220	59.38
増減額 (B-A)	△200	△710	△700	△690	－
増減率 (%)	△0.5%	△24.4%	△23.3%	△36.1	－
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	35,332	2,638	2,726	1,736	84.50

修正の理由

主力の焼肉事業における来客数の伸び悩みにより既存店売上が当初想定を下回ったことに加え、物価高騰による原材料価格等の高止まり、人材確保難を背景とした人件費・物流費の増加、販促活動費の増加により、利益水準が想定を下回っております。これらの影響は下期以降も継続すると見込まれることから、通期の利益水準は当初予想を下回る見通しとなりました。

また、猛暑などの天候要因や物価上昇による消費マインドの弱含みなど、外部環境による不確定要素も業績に影響を及ぼしております。

一方で、レストラン事業「感動の肉と米」の新規出店やアプリ会員向け施策、キャンペーンの効果などにより、売上面は底堅く推移しております。また、M&Aによる関西圏への新規出店拡大など中長期的な成長のための基盤整備は着実に進展しておりますが、今期における収益寄与は限定的となる見込みです。

これらを総合的に勘案し、通期の業績予想を修正することといたしました。

なお、今後も引き続き収益性の改善に向けた出店戦略・運営戦略の検討・推進を行ってまいります。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上